

神山神社だより

令和5年10月

38号

本年祭りの写真紹介

■はじめに

大変遅くなりましたが七月二十二・二十三日の夏祭り盛況に出来ました事、関係者各位を始め、参加された児童の皆さん、参拝者の皆さん大変有り難う御座いました。

コロナ禍開けの今年、四年ぶりとなり何の制約もない状態で正常な祭りが出来ました事に感謝申し上げます。

しかしながら、祭りを準備するに当っては五年毎の回り当番である為、各祭地区に於いては八年ぶりの準備をする事となり、其の準備には大変苦勞をされたことと思います。それ以前は準備の経験をされた方が中心となって執り行われましたが、準備経験のない人達が多く中心となって行った事、また、忘れてしまったなどコロナによって中止となった期間は影響が大きいものが在りました。特に以前開催していたけれど出来なくなってしまう余興元主催の子供の手踊り、大人たちによる余興が出来なかったことが心残りです。ぜひ、来年は復活できるようにお願いし

たいです。
祭りを盛り上げていただく事が、地域コミュニティ環境づくりの一助になりますのでご協力をお願いします。

小学校5年生の夏の教材で神山神社の手踊りが紹介された作文が載っていましたので紹介します。

※コロナ禍以前に書かれた文章

おどりに参加して

わたしは、一年生のときから、神山神社のおどりに参加しています。わたしが参加している理由は、小さいころからおどるのが好きだからです。今年も、高学年として、がんばって覚えて低学年に教えたいという気持ちでおどりの先生に習いました。自分も低学年のとき、高学年に教えてもらったことがあるからです。低学年に教えるときに、なかなか覚えられない子もいました。でも、話をよく聞いてくれたので、少しずつおどれるようになっていきました。だから、うれしかったです。本番では、今まで何度もおどっていたけど、少しくん張りました。わたしの教えた子たちが、上手におどっているのを見て、教えたかよかったなと思いました。
来年は最後なので、今年のように、またしっかり覚えて、低学年の子たちに教えたいです。



■ 幽光御神灯祭

八月十二日(土)にろうそくを350本以上参道、境内、拜殿にならべて夏の夜の神社を彩りました。この祭りは平成二十五年より始めた神事を行わない祭りです。きっかけは平成十七年御杣始祭(伊勢神宮の式年遷宮の御用材に使われる御神木を伐採する儀式)が付知・加子母で執り行われた後、御樋代奉曳式が付知の護山神社で開始されます。その道中の花街道で御神木が一泊しました。花街道にてろうそくを灯して御神木を迎え入れました。そのろうそくの入れ物350個を神山神社に頂いて、何かに利用する事を考えたところ、夏祭りが終わり氏子総代の慰労をかねて夜食事会を開く案が持ち上がりりましたが、只、食事会ではないので境内にろうそくを並べる企画となり氏子の皆様にも喜んで参拝に来て頂けるようにした次第です。当初は終戦記念日にあわせ八月十五日としていましたが近隣で行われるイベントと重なるなどシビアな状況でしたので少しでも重ならないように日にちを変えるなどとしておりましたが雨にたたられ中止することも多々ありました。今年には松尾の紀平さん夫婦によるミニコンサートを含め無料のビ

アガーデンを準備して参拝者を迎えられるよう開催をしましたところ、暫らくしてから小雨が降り、参拝者が長く留まる事が出来ないような状態になってしまい少し残念でした。来年以降も続ける予定ですので一度、御神灯祭の神社参拝を行ってみてください。

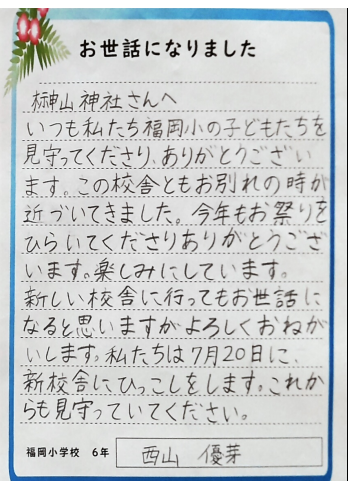
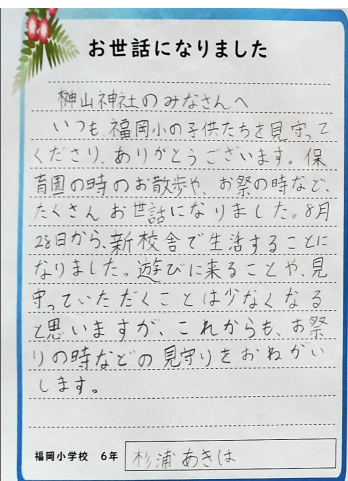


■ 神社と小学校

福岡小学校のすぐ東側に神山神社があり、昔から神社と小学校は切っても切れない関係でした。明治初頭まで神社の隣には寺子屋が立てられており明治六年神山神社を仮校舎として学校が開校されました。明治十八年神社南側に校舎が建設され福岡尋常小学校として設置、明治四十三年まで神社境内の校舎で学び、以降、現在の総合事務所東側神山神社所有地に移り新たな校舎を建て現在に至ります。その間、入学式、卒業式、写生大会、放課後の課外授業、お祭り等で神社を利用、多くの子達が神社に慣れ親しんできましたが、少子化の波を受け小学校統合によりこの度、閉校となりました。神社には学業の神様菅原道真公を祀る天神神社が在ります。天神神社の祭典が二月に行われる為、参加を呼びかけ、放課後、児童等に奉書をしてもらっていました。しかし、コロナ感染により暫らく行なえませんでした。来年こそはと思います。が小学校が曙に移ってしまい神社に来ることが難しくなっていることで開催できるか、又他の方法を取るか、思案中です。いつまでも小学校と関係性を持っていたい

と思います。が時代と共に替わる事は致し方ありません。

礼状を頂きました。



安産祈願、初宮詣、厄除け、車のお祓い、七五三祝いの正式参拝の予約を承ります

お問合せ先

宮司 深谷 耕平

宅 ☎0573 - 72 - 2892

お子様の成長を願って

七五三祭り

とき 11月11日(土) 11月12日(日)

ところ 榊山神社

中津川市福岡500番地

「七五三のお祝い」のいわれ
七五三は子供の成長過程に節目をつけ、年齢に応じて、自分のことは自分で出来るよう、良い習慣を身につけさせ、子供の無事成長を祝い今後のご加護を神様に祈願するゆかしい習わしが七五三のいわれです。

かみおき
髪置の祝い (男女共三歳)

はかまぎ
袴着の祝い (男子五歳)

おびなおし
帯直の祝い (女子七歳)

受付時間 11日9時～11時 13時～14時
12日9時～11時 13時～14時
※ 神事10分前までに受付をお済ませ下さい

御祓い料 お1人 4,000円
(千歳あめ・お守り・他)

申し込み先 宮司 深谷耕平
TEL/FAX 0573-72-2892

メールでも申込可能
下記HPより

11月5日までにお申し込み下さい

中津川市榊山神社

検索

※ 両日のうちどちらかも都合のつかない方は別途、相談を承ります

七五三祭り申込書

注意：新型コロナ感染により同時間帯に行う神事の組数を少数に制限します

齋行日	11	神事希望 時間帯	9:30	10:10	10:50	11:30	電話番号	
	12		13:30	14:10	※日時を選択			
住所						町内 会名	不明な場合は必要なし	
フリガナ 父親氏名				フリガナ 子供氏名	男・女 7才・5才・3才			
フリガナ 母親氏名				フリガナ 子供氏名	男・女 7才・5才・3才			

授与所売り子アルバイト募集

内容 神札・お守りの頒布売り作業

期間 正月三ケ日（令和六年一月一日～一月三日）

時間 朝九時～昼三時

場所 榊山神社授与所

手当 日給五千円

其他 昼食は神社で用意します

対象は高校生以上の女子学生

※十二月二十日までに宮司 深谷耕平（72-2892）へご連絡ください

令和六年一月の神社正式参拝の予約承ります

還暦報告祭

数え年の六十歳は生まれた時の干支に還るといいます。それを「本卦ほんは 還り」ともいいます。来年は甲辰の歳です。学年で考えれば昭和四十年四月生まれから昭和四十一年三月に生まれた方を対象にして神前にて感謝申し上げます。※この地域では早産まれも含まれますが特に気にしないで良です。

厄年健康祈願祭

数え年で男性は二十四歳、四十二歳、六十一歳を本厄の歳 女性は十九歳、三十三歳、三十七歳 六十一歳を本厄の歳と言います。精神的、社会的、身体的に転換期を迎える時期となり、体調を崩しやすいものです。中でも男性四十二歳、女性三十三歳は大厄とされ、何事にも慎むことが大事とされています。その為、神社にお参りして厄を祓います。※地域によっては数え年でなく学年で執り行われたりもします。

厄除け被い

年齢に関係なく精神的 身体的に悩み事があり、神前にてお祓いを受けることで気が休まるとされます。

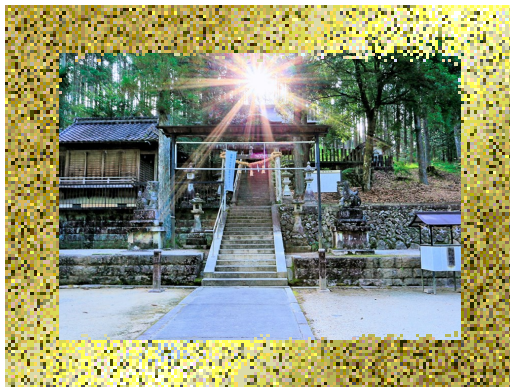
其の他の神事も承っておりますので個人・団体問わず気軽に
ご相談ください。※宮司 深谷耕平（72-2892）へご連絡ください

報告

神社の写真の頂きました。

朝日が本殿の上部から昇る構図
奉納者 酒井隆行 様 令和五年七月二十九日撮影

榊山神社氏子会館に掲げて在ります



神職の研修会実施

八月二十五日二十六日両日にかけて岐阜県の若手神職を集め、禊研修、祭式作法研修を榊山神社にて執り行いました。



付知川にて禊研修



社務所での祭式作法研修